

子どもたちと一緒に作った

佐渡の環境を考える テレビ番組を放送！

新潟県佐渡地域振興局の委託事業として、実際に放映される30分のテレビ番組の制作を佐渡の小・中学生と共に行いました。

昨年度の「森の荒廃と間伐材リサイクル」に続いて、今回は、美しい佐渡の風景のなかで目になってしまう漂着ゴミや、不法投棄の問題をとりあげています。

子どもたち自身で取り組めることを考え、防止を呼びかけるCMづくりを行いました。インターネットでも取り組みの一部をご覧ください。

<http://www.facebook.com/sado.eco>

番組名 きれいな佐渡を守るために
～佐渡・次世代環境メッセンジャーTV
プロジェクト

放送局 サドテレビジョン（ケーブルテレビ）

放送日 3月20日(火)
17:30～、19:00～、21:00～、
22:00～、23:00～

3月21日(水)
6:00～、8:00～、12:00～
計8回予定

後援：佐渡市・佐渡市教育委員会
協力：サドテレビジョン

企画製作・番組へのお問い合わせ

NPO法人しまみらい振興機構 ☎81-4567

島に春の訪れを告げるむら芝居

創作民話劇

げんたつものがつり 玄達物語



民話の里赤泊

期 日	平成24年3月25日(日) 午後3時・午後6時
会 場	赤泊総合文化会館
主 催	赤泊演劇研究会
入 場 料	無 料
後 援	佐渡市・赤泊地区公民館
お問い合わせ	赤泊演劇研究会 ☎87-2249 (代表：菊池太一)



佐渡市消費者協会 活動の中から

私たちの活動の重点は、地球環境を守り、安全・安心な生活のために行動しようです。

日頃は500名余りの会員で学習を重ね、事業に取り組んでいます。その活動の中から、今回は「地産地消」に関する取組みを紹介します。

佐渡市消費者協会として発足してから毎年、佐渡地域振興局様のご支援をいただいで、島内の生産者を訪ね、圃場見学をしています。

今までの主な見学先は、西三川のスイカ畑、金井でメロンのハウス、八幡でナスやトマトのハウス、羽茂でル・レクチエの追熟の作業場、小木でイチジクのハウスや乳牛を育てている若い酪農家、直売所などでした。そして市役所やJA佐渡の関係者から「地産地消推進計画」や認証米などのお話を聞いて学習を深めています。

今年度は、EMで栽培されているぶどう園を訪れ、午後は市役所の担当者からジラス（世界農業遺産）について説明してもらいました。

このように生産者を訪ね農産物を直に見ることで、生産者の努力や苦労が身近に感じられ、もっと地産地消を求め利用したくなると思います。

そして生産者は消費者のために安全・安心でおいしい食材を提供してくれるでしょう。この関係「地産地消」を大切にすることが、佐渡の産業を助けることにもなり、フードマイレージを小さくし、それがやがて地球温暖化防止のためのCO₂の削減に寄与することにもなるでしょう。

佐渡市消費者協会
佐和田地区代表
渡邊 典子